



文芸・歴史講座（2回シリーズ）

動乱の鎌倉期を生きた郷土の武将と文学

講師：竹内 好夫（観世流謡曲名誉師範）

講師コメント

平安末から鎌倉の動乱期に生きた郷土の武将2人を取り上げ、その人間ドラマを追ってみたい。

伊豆に流された源頼朝を物心両面で支えた比企氏は、鎌倉開幕に大きく貢献した。「比企能員」は有力御家人の一角を占め幕府の中樞にいたが、頼朝亡き後の源家の家督をめぐる北条氏と争い一族は滅亡した。「木曾義仲」は本県嵐山に生を享け、2歳で殺害される運命にあったが、斎藤実盛によって救われ木曾で成人した。打倒平家で京を目指したが、篠原合戦で部下が命の恩人実盛を殺害し、義仲が号泣する話は『平家物語』や能「実盛」に描かれている。

同じ戦乱の世をすれ違いで生きた2人の武将の人物像に迫り、『鎌倉殿の13人』をより楽しめる講座内容としたい。

プロフィール



本県高等学校で教鞭をとる傍ら、長らく能楽の稽古を続け、退職後は公民館・自宅等で謡曲と仕舞の指導に当たっている。『謡曲落ち穂ひろいー能楽の稽古で出会った言葉100選ー』刊行。

《 1日目 》

保元・平治の乱から敗走した源家を支え鎌倉開幕に貢献した比企氏は、本県比企郡を本拠とする源家譜代の豪族であったが「比企の乱」で滅亡した。そこに至る経過を歴史書等から読み解く。

《 2日目 》

平家滅亡を策す源氏は義仲軍と頼朝軍の同族争いとなったが、その起点は本県嵐山の「大蔵合戦」と言われる。そこを生き延びた木曾義仲をめぐる栄光と挫折の人間ドラマを戦記文学の中に確認する。

- ・日時 7月1日(金)、7月8日(金)
受付14:00 講演14:30~16:30
- ・会場 新所沢公民館ホール
- ・募集人員 120名(会員80名：一般40名)
- ・参加費 会員 1000円
一般 1300円
- ・申し込み 会員 各サークル理事に申し込み
一般 往復はがき
(〒住所・氏名・電話番号記載)
「――参加希望」と明記して郵送ください
- ・締め切り 6月20日(月)
- ・宛先 〒359-0021 所沢市東所沢3-23-14
梅津 博紀
(申し込み者多数の場合抽選)
- 問い合わせ 松尾(TEL 080-1188-9411)



比企一族の墓（妙本寺） 鎌倉市